

バルバレー



1 バルバレーとは、
「バルバレー」は、特殊なボールと「ホールネット」と呼ばれる穴空きネットを使用し、独自のゲームが展開できます。特徴として、「点倍ホール（ネット中央の正方形の穴）に通して得点を2倍にでき、運動能力に合わせてコートやネットの高さを変えることができる」などがあります。

2 用具

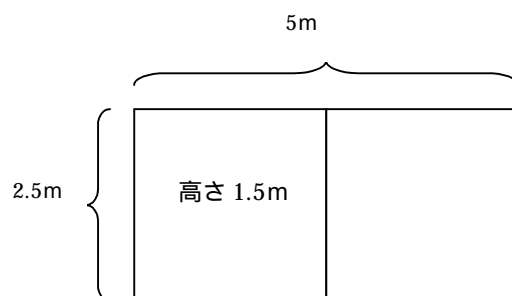
バルバレーボール（専用風船とカバーボール）
ホールネット（点倍ホール付き）
ウォーターベース支柱セット（高さ1．8 mまで）

3 場所

平坦なところで、屋内が望ましい。
コートサイズは、参加人数やスペースによって工夫できる。

4 人数

シングルス 1対1
ダブルス 2対2
トリプル 3対3



5 競技の進め方 基本ルール

ジャンケンで勝ったチームが、サービスとコートを選ぶ。

審判の合図によってプレー開始

サーブは、コート内のいずれの場所からもでき、アンダーハンドで行う。
サーブは、2回までできる。相手コート内に打ち入れるのが2回連続してミスすると相手チームにサーブ権が移り、相手チームの得点となる。（サーブ球が直接「点倍ホール」を通過した場合はミスとなる）

サーブ権と得点は、自チームがミスしないかぎり連続して行う。ミスするとサーブ権が移り、相手チームの得点となる。（ラリーポイント制）

サーブ権を連続して得たときは、自チーム内のプレーヤーが交互に行う。
サーブされたボールは、レシーブ回数内で相手コートに返球する。

レシーブは、同プレーヤーが連続して2回までできる。

ホールネットにある「点倍ホール」をボールが通過し、相手コートに入り

得点となった場合は、通過の1点、レシーブミス of 1点と合計2点が加算される。(通過させ相手がレシーブしプレーが続いたときは1点) 点倍ホールのボール通過は、結果に拘わらず1セット中に1人1回限りとする。(通過とは、ボールが点倍ホールを通り相手コート内外に入った状態を指す)
コートチェンジは、奇数セット終了時に行う。

6 反則

- ◇ ボールが相手コートに入らなかった場合
- ◇ 自コート内のボールに1人が3回触れたとき
- ◇ レシーブ回数をオーバーした場合
- ◇ インプレー内にネットに触れた場合
- ◇ 点倍ホールを1人が1セット中、2回以上通過させた場合
- ◇ サーブの動作中にラインをふんだり、踏み越えた場合
- ◇ 頭上より打ち下ろすサーブをした場合
- ◇ ネットの高さを1.5mに設定したゲームでネットより高い位置で返球した場合

プレイヤーは、指輪や時計などをはずしてゲームに参加すること。

7 勝敗の決め方

1セット5点または7点先取の3セットマッチまたは5セットマッチ。ジュースは行わない。